

1. 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	4071602074		
法人名	学校法人久留米ゼミナール		
事業所名	グループホーム野中つつじ苑		
所在地	福岡県久留米市野中町771-1 (電話) (0942) 39-2700		
自己評価作成日	令和 2 年 8 月 26 日	評価結果確定日	令和 2 年 11 月 12 日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

当苑は平静な住宅街にあります。近辺には公園があり、四季折々の変化を楽しめます。
苑の方針として利用者様の今までの生活習慣を大切にし、できるだけ利用者様のペースで過ごせるように気を付けています。それによって安心して過ごして頂けたらと思います。外出支援にも力を入れており、可能な限り毎月1回は外食や遠出ができる様にしています。御家族との時間も大切にし、会話の時間を持つようにしています。時にはイベントや外出等に参加をお願いしています。私達は利用者様に寄り添った介護を行い、温かいアットホームな苑を目指しております。

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kai gokensaku.jp/
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社会福祉法人 福岡県社会福祉協議会		
所在地	福岡県春日市原町3-1-7		
訪問調査日	令和 2 年 9 月 29 日		

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

静かな住宅街にあり、3階建ての2・3階にグループホームが2ユニットあり、1階には同法人の小規模多機能居宅介護事業所がある。地域の方とは散歩の時にお互い挨拶を交わしたり、事業所主催の餅つきにボランティアで来ていただいたり、つきたてのお餅を地域の方へ配布し、年の瀬を感じていただいたり、避難訓練に参加していただいたりと日頃から地域との交流を行い、地域密着型事業所としての役割を果たしている。

項目番号		項目	自己評価	外部評価	
自己	外部		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
【I 理念に基づく運営】					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念を詰所に掲示して、スタッフがいつでも見られるようにしています。各自が自覚するように、申し送りの時に唱和して業務についています。毎年理念に基づいた評価項目を設定してスタッフ一人一人が自己評価を行っています。	事業所独自の理念を、玄関やスタッフルーム内に掲げ、管理者、職員は朝の申し送りの時に唱和し理念を共有している。「人としての生き方、学びとして捉えお互い支えあって生きる」という思いで理念を考え、地域密着型の視点で地域と寄り添っている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	近所や地域の方と出会った時は挨拶をしたり会話をしています。そうして利用者様とスタッフの顔を覚えて頂けるように心掛けています。敬老会やお祭り等の地域行事にお招きいただき利用者様と参加しています。	事業所は、自治会に加入しており、会計を担当したり、清掃活動や献血にも参加している。事業所主催の餅つきに、地域の方がボランティアで参加したり、事業所前に子供みこしが来るなど、夏祭りや敬老会等の行事を通じて、地域の方と交流を行っている。また、利用者が、散歩の幼稚園児に、手を振ることを楽しみにしていたり、近所の人がお正月にカボスのおすそ分けをするなど、日常的に交流している。	
3	—	○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議を通じて事業所の状況や活動報告を行いながら、支援についての意見交換をしています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実践、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2か月に1回同グループの小規模多機能と合同で行っています。利用者様の状況報告、困難事例、行事等を話し合っています。地域の方、市役所、包括支援センターの方々からの意見をサービスを向上につなげています。	運営推進会議は2ヶ月に1回開催しており、行政や包括、自治会長、老人クラブ代表者の参加があり、入退所状況や活動報告、事故報告、ヒヤリハット、行事報告など、地域と行政との連携を行っている。外食時の店や季節感を楽しめる場所などの情報を教えてもらい、サービスに生かしている。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	何かあれば随時市役所に報告しています。運営推進会議で日々の様子を伝え、困難事例等があれば相談しています。	生活支援課や介護保険課を訪問し、入居相談や空き状況を報告したり、包括支援センターからの依頼により、市民フェスタで利用者と歌を唄うなど、積極的に協力関係を築いている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	研修会で身体拘束について学んで理解を深めています。困難事はスタッフで話し合い、ご家族の協力を得て代替策を実行しています。玄関の施錠に関しては1階の小規模多機能に続くドアは開いており常に行き来ができるようにしています。	事業所に続く入口は、人の出入りがしやすいように開放されているが、1階にある玄関は、他の施設と共用のため、施錠を行っている。家族へは説明を行い同意を得ている。外出傾向がある利用者がいれば、付き添いを行っている。近所の人にも理解を求め連絡をしてもらえ関係を築いている。職員に身体拘束廃止の認識を持たせるために内部研修を行っている。	1階の施設と連携し、安全面を配慮しつつ、少しの時間でも施錠しない時間を設けることができるように、ケアの工夫等の検討を継続してほしい。

項目番号		項 目	自己評価 実践状況	外部評価	
自己	外部			実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
7	—	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	スタッフは苑内、外部研修に参加をして知識を深めています。また、何かあればカンファレンスで話し合い職員同士で共通の意識を持つように心掛けています。		
8	6	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	権利擁護に関する苑内研修を行っています。利用者様の中には成年後見制度を利用されている方や、スタッフが手続きに関わる事もあって、実際に成年後見制度に関わる機会があります。	権利擁護や成年後見制度について、契約時や必要時に家族へ説明を行っている。現在3名の利用者には後見人がいる。職員は内部の研修で学び、理解を深め、活用できるように支援している。	
9	—	○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約または改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時は書類に添って説明を行っています。疑問や不安がないか確認しながら行い、あればその都度説明しています。サインはご理解を得た上でして頂いています。		
10	7	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	電話や面会の時に意見要望を聞く様になっています。特に、家族の面会時にスタッフから話しかけて、利用者様や家族の意見を聞く様になっています。できるだけ気軽に話せるような関係性を築けるように心掛けています。ご意見やご要望は職員間で共有し話し合っています。	利用者とは、日頃の雑談や夜勤時、入浴時など周りに誰も居ない時などの会話で、職員が思いを汲み取るようにしている。また、家族には、面会時や電話等、職員と話す機会に、思いや意見、要望などを聞き取るように努めている。利用者が寿司や肉を食べたいという要望に応じて、外食へ行ったり、海が見たいとの要望で、マリンワールドへ出かけたりしている。コロナ禍で外出が減り、外部との接触が減ったが、テレビ電話等を設置して話してもらうなど、利用者・家族の要望を運営に反映している。	
11	8	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月ユニット毎に代表者や管理者を交えてカンファレンスを行っています。お互いに気軽に意見を出せるようにして、改善に向けた取り組みをしています。	全職員で自己評価に取り組んでいる。施設長や管理者は、月に1回、ユニット会議やカンファレンス会議に参加し、業務の中で、職員の意見を聴く機会を設け、職員の離職も抑えている。施設長は、職員の気づきやアイデアを運営に取り入れ、要望があった居室に、必要な手すりや転倒時の衝撃を和らげる緩衝材を設置したり、必要な備品の購入等意見を言いやすいように工夫し職員の離職も抑えている。	
12	—	○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	毎年各自が自己評価を行い、それに対して代表者が評価とアドバイスをしています。外部研修の参加を推進しており、個人の休みを利用するのではなく、勤務時間を利用できるように配慮しています。また、定期的に事業所全体の研修を開催しています。		

項目番号		項目	自己評価 実践状況	外部評価	
自己	外部			実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
13	9	<p>○人権の尊重</p> <p>法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。</p> <p>また、事業所で働く職員についても、その能力を發揮していき生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保障されるよう配慮している</p>	<p>求人に関し性別や年齢等の基準は設けていません。働いている職員については、本人の思いや希望に添える様シフト調整を行ったり、個別面談を通し個々の特性や能力を把握し生かせるよう努めています。</p>	<p>施設長が職員採用の面接を行っているが、年齢や性別で排除しないようにしている。シフトについては家庭の事情に応じて、夜勤を外したり、希望を取り入れるなどして、退職者が復帰しやすいように働きやすい職場環境づくりに努めている。信頼関係を築きながら、離職者を増やさないように取り組んでいる。</p>	
14	10	<p>○人権教育・啓発活動</p> <p>法人代表者及び管理者は、利用者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる</p>	<p>市が発行しているパンフレットを利用して勉強会を行ったり、人権に関する研修に参加しています。</p>	<p>施設長、管理者は人権教育に取り組み、内部研修を行っている。利用者に対する人権尊重のために、言葉使いや排泄時のさりげない誘導などを実践し、啓発に取り組んでいる。</p>	
15	—	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>外部研修に積極的に参加できるように個人の休みを利用するのではなく、勤務時間を利用して参加できるようにしています。また、毎月事業所全体の研修を行っています。</p>		
16	—	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>久留米市のグループホーム部に所属し、研修に参加しています。また、他の施設を見学させて頂いたり、運営推進会議に参加させて頂き交流を深めています。</p>		
【Ⅱ 安心と信頼に向けた関係づくりと支援】					
17	—	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>入居前に本人と面会の機会を設けて要望や不安に思っていることを聞いています。入居後も会話の中で本人の思いを聞く様に行っています。そして、職員間で情報を共有し解決に向けた取り組みをしています。</p>		
18	—	<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>施設見学や申込みの際にお話を伺い、不安や疑問等に説明を行っています。又入居時にもお話を伺い要望にお応えできるようにしています。</p>		

項目番号		項目	自己評価 実践状況	外部評価	
自己	外部			実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
19	—	○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入所時に本人とご家族の希望をお聞きして、それに基づいたサービスを提供しています。必要であれば他のサービスを説明し、利用される方もいらっしゃいます。現在訪問マッサージを利用されている方がいます。		
20	—	○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	介護する、されるという関係ではなくて同じ場所で一緒に生活しているという思いを持ち、必要な時に手を貸したり借りたりの関係を大切にしています。		
21	—	○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	毎年クリスマス会にはご家族を招待して利用者様と共に会を盛り上げて頂いています。また、外出レクリエーションの時にはご家族を招待して一緒に外出する事もあります。		
22	11	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	居室にご家族や古い写真を飾っています。昔からの知人が訪ねてみえる時があり、再度訪問し易い雰囲気作りをしています。外出支援の時などは以前関わりのあった場所へ案内する事もあります。	職員は利用者や家族から聴取して、馴染みの人や場所との関係が途切れないように把握している。家族へ同意をもらい、以前住んでいた家の近くや、知人が入所している施設へ面会に出かけたりしている。知人の面会もあり、希望があれば関係継続の支援を行っている。	
23	—	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者様の性格や対人関係等を把握して配席を考えています。職員が間に入ってコミュニケーションがスムーズになるようにしています。		
24	—	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去された利用者様のご家族からお電話をいただいたり、訪ねて来られる時もあります。契約終了後も関係を大切にしており、相談や支援ができる様にしています。		

項目番号		項 目	自己評価	外部評価	
自己	外部		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
【Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント】					
25	12	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日々の関りの中で声をかけながら、その方の把握に努めています。言葉や表情などからも思いを確認するようにしています。また、家族からの情報も参考にしています。	入居時に、利用者や家族からこれまでの生活歴や馴染みの関係、暮らし方、要望等を聞き取っている。要望を聞き取るのが困難な場合は、暮らしの中で、表情や言葉などから思いを汲み取るようにしている。本人や家族が、楽しみにしていた花火大会を自宅で見られるよう支援を継続している。	
26	—	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所時はフェイスシートを利用しながら本人や家族に聞いて今迄の生活を把握するようにしています。そして、それを個別支援に繋げるように努めています。		
27	—	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	ケース記録や申し送り等で一人一人の情報収集に努めています。また、毎日どのように過ごしたいのかを本人やご家族にお尋ねし、その方らしい過ごし方を考えています。		
28	13	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	月に一度のユニット会議でその方の課題を話し合っています。そうしてその方に合った介護計画をたてるように心掛けています。	利用者や家族から、訪問時に意向確認を聞き取っている。介護計画に基づき、日々のケアの実施や、結果、気づきをケース記録に残している。アセスメントに沿って、毎月のユニット会議や、カンファレンスにおいて、職員で情報共有・意見交換しモニタリングを行っている。主治医や担当者などの意見を取り入れ、半年に1回介護計画を作成している。	
29	—	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子をそれぞれの記録に残し、日常の様子を把握しています。それによって本人の望むこと、得意なこと、嫌なことを見つけて介護計画の見直しに活かしています。		
30	—	○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	何かあればスタッフで話し合い、必要な支援が受けられるようにしています。		

項目番号		項目	自己評価 実践状況	外部評価	
自己	外部			実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
31	—	○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の方との挨拶はもちろんのこと、地域の行事にも参加して楽しんで頂いています。防災訓練等にも参加をお願いしています。		
32	14	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医は利用者様の希望に応じています。受診に付き添い関係を築けるようにしています。月に2回協力医が往診に来ています。急変時などには協力医に連絡して指示を仰ぎながら対処しています。ご家族にも報告して連携をとるようにしています。	入居前のかかりつけ医の継続を希望される方などに、それぞれの意向を大切にしてお応じしている。月2回の協力医の往診や、歯科・訪問マッサージ等訪問診療も充実している。関係機関と関係構築をしながら、状態急変時には家族やかかりつけ医と連携を取り、指示を仰いでいる。	
33	—	○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	気づきや情報を職場内の看護師に報告し、それを看護師がかかりつけ医の看護師に報告相談することで、適切な治療が受けられるようにしています。		
34	—	○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	入院時には情報提供書を用いて情報を提供しています。入院中は地域連携室と連絡を取り合いながら状況の把握や相談を行っています。		
35	15	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	、契約時に重度化や終末期について説明を行い意向を伺っています。終末期にはご家族と医療機関と連携をとりながらご本人の意向に添うようにしています。	入居時に、「重度化対応看取り介護指針」を本人・家族等に説明しており、開設当初より「看取りはあたり前」との方針で、苑内で「看取り研修」を毎年実施している。急変時は、主治医・家族・救急車対応などの体制が職員に周知されており、関係者とチームで支援に取り組んでいる。	
36	—	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	苑内研修で学びました。職場内の看護師よりマニュアルとパンフレットを基に説明を行っています。		

項目番号		項目	自己評価	外部評価	
自己	外部		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
37	16	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	半年に1回の間隔で地域の方に参加して頂き、避難誘導訓練を行っています。また、防災研修を行い、非常時の対応について学びました。	地震・水害・火災など災害時の行動マニュアルが整備されており、事業所独自で年2回避難誘導訓練(1回は夜間想定)を2小規模多機能と合同で実施している。地域の方も訓練に参加されており、協力体制を築いている。非常用備品は事業所内に食料・水など備蓄している。	
【IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援】					
38	17	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	研修で人権の尊重と、プライバシー保護について学んでいます。その方の生活歴や性格等を考慮しながら対応するようにしています。	毎年、定期的に、人権の尊重やプライバシー保護について研修を行っている。一人りひとりの生活歴や性格を配慮しながら対応しており、日頃から職員同士で言葉遣いなど注意している。	
39	—	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日々の会話の中で思いや希望を聞く様になっています。何かを職員が決めるのではなく、なるべくご利用者様本人が決められるような声掛けを心掛けています。		
40	—	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その方の習慣や体調に合わせて起床就寝時間を決めています。生活習慣とその日の状態や気分を考慮して、利用者様一人一人に合った過ごし方ができる様に支援しています。		
41	—	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	訪問美容をお願いして本人の希望する髪型にしてもらっています。また、場合によっては美容院への付き添いも可能です。		
42	18	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	日頃の食事は業者に頼んでいるので調理の機会がなく、片付けをお願いしています。それで、レクリエーションで食事やおやつ作りの機会をもって頂けるようにしています。	毎日の食事は業者に依頼している。午前中はお茶の時間にバナナミルクを提供しており、台ふきや片付けを手伝ってもらっている。行事食やレクレーションで、そうめん流しやフルーツポンチづくりなど、一緒に調理を行っている。利用者の希望を聞いて、食材を購入し、味付けも食事が楽しくなるように工夫している。	

項目番号		項目	自己評価 実践状況	外部評価	
自己	外部			実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	—	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人一人の状態に応じた食事形態で提供しています。必要な栄養や水分が確保できる様に好きな物を用意したり、栄養補助食品を利用しています。		
44	—	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後口腔ケア介助を行っています。毎週水曜日に歯科往診があり、口腔内の状態を診てもらっています。そして、一人一人に合ったお手入れの方法をアドバイスして頂いています。		
45	19	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄チェック表を用いて個々の排泄パターンを把握しています。訴えがない方は個々に合わせてトイレ誘導をしています。各自のトイレのサインを見逃さないように心掛けています。	排泄チェック表を個別に作成して、排泄パターンを把握し、声かけをしている。訴えない方もその方のリズムに合わせて、トイレに誘導している。オムツから、リハビリパンツに改善するなどの事例も見られている。オムツ・パッドが利用者に適しているか検討し家族と相談したり、職員で意見交換を行って、排泄の自立支援に向けて支援を行っている。	
46	—	○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎日お茶の時間にバナナミルクを提供しています。また、水分を多く摂取するように促し、繊維の多い食事を提供しています。毎朝ラジオ体操やリズム体操を行っています。		
47	20	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった入浴の支援をしている	入浴のスケジュールは決まっていますが、体調や気分に応じて入浴の日にちや時間を変更する等、柔軟に対応するようにしています。	週に3回の入浴が基本であるが、曜日・時間の変更など希望に応じている。入浴の順番も偏らないよう気をつけている。職員を変えたり、入浴剤を湯船に入れて季節感を演出したりして、個々の状態に添った入浴支援をしている。	
48	—	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個々に合わせた起床や就寝を支援しています。毎日の生活パターンやその日の体調に合わせて居室で休んだり、フロアのソファでくつろいでもらったりしています。		

項目番号		項目	自己評価 実践状況	外部評価	
自己	外部			実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	—	○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	利用者様の薬を一覧表にしています。処方薬の情報提供書を個人ファイルに閉じていて、スタッフはいつでも参照できるようにしています。変更があった時は申し送りノートに記載して情報共有し、症状の変化や異常の早期発見に努めています。		
50	—	○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	洗濯物たたみや食後のお盆拭き等、利用者様其々に合った役割を持って頂いています。嗜好品を常備して、欲しい時に食べている方もいます。散歩、ドライブ、テレビ視聴等思い思いに過ごして頂いています。		
51	21	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	月に一度遠出したり、外出を行っています。日頃も希望があったり、スタッフから誘って近辺の散歩やドライブ、買い物支援を行っています。	近くの散歩だけでなく、月に1回程度、食事など本人の希望を把握し、希望に沿って外出に遠出している。歩行困難な方も車いすで戸外に出ることを積極的に行い、馴染みの住んでいた地域を廻ったり、外出支援を工夫している。	
52	—	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	本人が希望されれば、ご家族から了解を得てお金を所持されています。		
53	—	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ラインのビデオ通話を導入しました。コロナの影響でなかなか面会が出来ない状況ですが、いつでもビデオを通して会話を楽しんで頂いています。		
54	22	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	フロアの飾りつけを季節ごとに取替え、季節感が出るようにしています。空調の管理、加湿器や空気清浄機を設置することで快適に過ごしていただけるようにしています。	廊下やフロアの壁には、職員が作成した季節感が感じられる飾りつけが行われている。テーブルやソファの配置を工夫して人間関係が円滑に、居心地よく過ごせるように工夫されている。	

項目番号		項目	自己評価 実践状況	外部評価	
自己	外部			実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
55	—	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	利用者様が気兼ねなく過ごせるように配席を考えています。また、状況に応じて席替えを行うようにしています。		
56	23	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	全室畳を敷いています。家具や寝具等は使い慣れた物をお持ち出来ます。室内のレイアウトはご本人とご家族にお任せしています。利用者様が不便を感じないで済むように危険物以外は特に制限を設けていません。	全居室は畳を敷いてあり、家庭的な柔らかい雰囲気を感じられる。ベッド・カーテン・エアコンが施設より提供されている。自宅で使用されていたソファ、椅子、筆筒などが持参されている。利用者は、家族の写真に囲まれながら、ぬり絵や好きな音楽を楽しまれており、心穏やかに居心地よく過ごせる居室となっている。	
57	—	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	苑内には随所に手すりを設置してそれに掴まりながら安全に移動できるようにしています。居室入り口やトイレ浴室などには案内を表示しています。危険箇所には緩衝材を取り付けて危険防止に努めています。		

項目番号		項 目	取 り 組 み の 成 果	
自己	外部		(該当する箇所を○印で囲むこと)	
V サービスの成果に関する項目 (アウトカム項目)				
58	—	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：25, 26, 27)	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者の
			<input type="radio"/>	②利用者の2/3くらいの
			<input type="radio"/>	③利用者の1/3くらいの
			<input type="radio"/>	④ほとんど掴んでいない
59	—	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：20, 40)	<input type="radio"/>	①毎日ある
			<input type="radio"/>	②数日に1回程度ある
			<input type="radio"/>	③たまにある
			<input type="radio"/>	④ほとんどない
60	—	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：40)	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が
			<input type="radio"/>	②利用者の2/3くらいが
			<input type="radio"/>	③利用者の1/3くらいが
			<input type="radio"/>	④ほとんどいない
61	—	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：38, 39)	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が
			<input type="radio"/>	②利用者の2/3くらいが
			<input type="radio"/>	③利用者の1/3くらいが
			<input type="radio"/>	④ほとんどいない
62	—	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：51)	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が
			<input type="radio"/>	②利用者の2/3くらいが
			<input type="radio"/>	③利用者の1/3くらいが
			<input type="radio"/>	④ほとんどいない
63	—	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：32, 33)	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が
			<input type="radio"/>	②利用者の2/3くらいが
			<input type="radio"/>	③利用者の1/3くらいが
			<input type="radio"/>	④ほとんどいない
64	—	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：30)	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が
			<input type="radio"/>	②利用者の2/3くらいが
			<input type="radio"/>	③利用者の1/3くらいが
			<input type="radio"/>	④ほとんど掴んでいない

項目番号		項 目	取 り 組 み の 成 果			
自己	外部		(該当する箇所を○印で囲むこと)			
V サービスの成果に関する項目 (アウトカム項目)						
65	—	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 21)	○	① ほぼ全ての家族と		
				② 家族の2/3くらいと		
				③ 家族の1/3くらいと		
				④ ほとんどできていない		
66	—	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：2, 22)		① ほぼ毎日のようにある		
				② 数日に1回程度ある		
			○	③ たまにある		
				④ ほとんどない		
67	—	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		① 大いに増えている		
			○	② 少しずつ増えている		
				③ あまり増えていない		
				④ 全くいない		
68	—	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)		① ほぼ全ての職員が		
			○	② 職員の2/3くらいが		
				③ 職員の1/3くらいが		
				④ ほとんどいない		
69	—	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		① ほぼ全ての利用者が		
			○	② 利用者の2/3くらいが		
				③ 利用者の1/3くらいが		
				④ ほとんどいない		
70	—	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	① ほぼ全ての家族等が		
				② 家族等の2/3くらいが		
				③ 家族等の1/3くらいが		
				④ ほとんどいない		

項目番号		項目	自己評価	外部評価	
自己	外部		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
【I 理念に基づく運営】					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	スタッフと話し合い共に事業所理念を作りあげています。皆が目につく場所に掲示し、唱和してから業務に入っています。また、年に一度の自己評価においては、理念の共有・実践につながる様、理念に基づく評価項目が設定されています。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	利用者様との散歩や、スタッフの通勤時に地域の方とご挨拶やお話をしています。地域の祭りや子供神輿、資源回収などの協力をしています。		
3	—	○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域ケア会議に参加して地域の方々と直に意見交換を行っています。その為、入所の問い合わせ等、ご近所からの問い合わせが増えてきました。その際には誠実に対応できる様にこころがけております。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議で出た意見を申し送りやカンファレンスで共有しています。市や地域の行事に利用者様と参加したり、御家族に制度の説明をしています。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	生活保護受給者の方に関しては、市の担当者との連絡を取り合いながら支援しています。運営推進会議や市役所への書類提出時などに活動を報告したり、困難事例等の相談をしています。包括支援センターの意見交換会にも参加し情報を得る様にしています。		
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	全体研修、カンファレンス会議、勉強会において身体拘束排除について学習し、理解に努めています。構造上防犯の為、玄関を施錠していますが、2階と3階の行き来は自由に出来るようにしています。		

項目番号		項目	自己評価 実践状況	外部評価	
自己	外部			実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
7	—	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされないよう注意を払い、防止に努めている	事業所全体の研修において虐待防止について再確認し、どのような行為が虐待に当たるか、虐待が疑われる時の対応について等を学習しています。普段から身体拘束や虐待はしないという意識を持ち、スタッフ間で注意し合える関係を築いている。		
8	6	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	全体研修や勉強会にてテーマとして取り上げています。必要時は利用者様やご家族へ説明、提案を行っています。現在、成年後見人制度を利用中・手続き中の利用者様がいらっしゃいます。		
9	—	○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約または改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入所契約時は早めに契約書を渡し、事前に目を通して頂き、不明点や不安にお答えする様に行っています。また、その他、その都度利用者様やご家族に文書と共に説明を行い、同意を頂くようにしています。		
10	7	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	日々の関わりの中で利用者様の要望をくみ取り、ご家族とは面会時にお話する時間を持ち、意見、要望をお聞きする機会とし、運営に反映している。また、意見箱の設置、運営推進会議にご家族の出席を声かけし、ご意見を頂けるようにしている。		
11	8	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月行っているカンファレンス会議に代表者、管理者も参加し、職員の意見や提案をする機会がある。食事外注業者とのやり取り等、現場の意見を取り入れている。		
12	—	○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	キャリアパス制度が導入され、評価、目標の設定・振り返りを定期的に行い、また、代表者、管理者との面談を通し、目標を明確化し、向上心ややりがいをもって働くことが出来るように努めている。		

項目番号		項目	自己評価 実践状況	外部評価	
自己	外部			実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
13	9	○人権の尊重 法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。 また、事業所で働く職員についても、その能力を発揮していき生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保障されるよう配慮している	職員の募集、採用に関して性別や年齢で排除しないようにしている。 現在も色々な年齢層の職員がおり、公休・有休の希望も十分考慮し、シフト調整している。		
14	10	○人権教育・啓発活動 法人代表者及び管理者は、利用者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる	全体研修や勉強会にて人権をテーマにしている。特に、利用者様への声かけ等、職員間で注意し合い、気を付けている。カンファレンス会議においても代表者から理念に沿い、声かけや対応するよう注意を受けている。		
15	—	○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修の案内をその都度回覧し、場合によっては管理者から受講者の推薦をしている。研修は個人の休みではなく、勤務となり、時間外手当・受講料を支給し、支援している。		
16	—	○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	久留米市のグループホーム部会や市が開催する交流会や研修会に参加し、意見交換している。また、とびうめネットに参加し、医師会や在宅医との情報共有を行っています。		
【Ⅱ 安心と信頼に向けた関係づくりと支援】					
17	—	○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前に本人にお会いし、お話をお聞きするようにしています。前サービス事業者からも出来るだけの情報提供を頂き、本人の要望や不安を汲み取るよう心掛けています。		
18	—	○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居見学・申込み時にはお話を傾聴し、困りごと、不安、要望を聞きとるようにしています。ご家族とのコミュニケーションを大切にし、情報交換を密に行い、信頼関係を築けるよう努めています。		

項目番号		項目	自己評価 実践状況	外部評価	
自己	外部			実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
19	—	○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居時に本人とご家族の意向を確認し、その時の状態や課題に対して、他サービスも含め、必要と思われるサービスを提案しています。		
20	—	○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	掃除や洗濯干し、食器洗い…等、得意なこと、出来ることを職員と一緒にしない、充実感を得てもらえるようにしています。お手伝いして頂いた時は「ありがとうございます」という言葉を必ず伝えています。		
21	—	○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族には状態の報告を密に行い、馴染みの美容室への送迎やご自宅への外出、ドライブ、散歩など協力して頂いている。現在はコロナの為、面会中止中で、タブレット端末を使用したテレビ電話でご家族と本人を繋いでいる。		
22	11	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	希望があれば、今まで通っていた美容室、かかりつけ医を継続している。ご近所の方からのお手紙のやり取りもある。		
23	—	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	新規入居時はお互いに自己紹介を行い、顔馴染みの関係を築けるように交流を図って頂いている。利用者同士の関係性を考慮、配席を工夫し、レクリエーションや行事に共に参加して頂くことで関わり合いを持つことが出来るよう支援している。		
24	—	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院期間が長くなり、退去された後、その後の経過、今後の行き先等を相談されることもあります。その時々に応じて支援しています。		

項目番号		項目	自己評価 実践状況	外部評価	
自己	外部			実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
【Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント】					
25	12	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	毎日の暮らし、関わりの中で、思いや意向を聞き取るようにしています。困難な時は日々の言動・昔からの習慣より汲み取り、ご家族からの聞き取り等で把握に努め、申し送りやカンファレンス会議で情報を共有しています。		
26	—	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人・ご家族から聞き取りし、フェースシートを記入しています。日々の生活の中でも情報を収集しています。		
27	—	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎日の状態を記録に残し、アセスメントや毎月の各担当によるカンファレンスで課題を明確化しています。申し送りや必要時はカンファレンス会議にて職員で話し合い、把握に努めています。		
28	13	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人やご家族に意向を確認、主治医や訪問マッサージ等関係者に前もって意見を頂き、スタッフ全員で担当者会議を開催し、モニタリング項目を検討、現状に即した介護計画に繋げている。		
29	—	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ケース記録は個別に日々の変化を記入している。また、毎月、個別カンファレンスで気づき・工夫を課題・対策として取り上げ、介護計画実施確認表で実践状況を記録、見直しに活かしている。		
30	—	○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	訪問マッサージや牛乳の配達、訪問カット等、利用者様やご家族のニーズに対応している。ご家族の希望やニーズも面会時に聞き取り、情報の提供を行っている。		

項目番号		項目	自己評価 実践状況	外部評価	
自己	外部			実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
31	—	○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	散歩時の挨拶、消防訓練に利用者さんも地域の方も参加して頂き、また、地域の行事に参加することで交流を深めています。時折、近所のコンビニエンスストアに買い物に行き、好きなコーヒーを飲み、声を掛けてもらうようになっています。		
32	14	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居時に本人・ご家族とお話しし、今までのかかりつけ医の継続、苑の協力医への変更等希望に沿っています。かかりつけ医とは密に体調/状態の変化を連絡し、必要時は臨時に受診したり、往診を依頼しています。定期受診は苑で対応していますが必要時はご家族にも同席や受診同行をお願いしています。		
33	—	○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	ケース記録や生活日誌に情報や気づきを記入し、皆が共有し、看護師へ相談、看護師を窓口にかかりつけ医に相談、指示受け、適切に受診や往診をして頂いている。		
34	—	○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	とびうめネットに参加し、利用者様の情報を共有できるようにしている。利用者様がストーマ造設された際は病院にて看護師から手技の指導を頂けるよう相談し、スムーズな退院に繋げることができた。		
35	15	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居時に事前指定書をお渡しし、重度化や終末期の意向を確認しています。その後も利用者様の状態に合わせて終末期のあり方についてその都度確認、事業所で出来ること出来ないことを説明し、納得頂いて、医療機関やその他の関係機関と連携を図り適切な医療や支援が受けれるよう取り組んでいる。		
36	—	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	研修で取り上げ、マニュアル化して急変や事故発生に備えています。また、情報シートを用意し、救急隊との情報共有をスムーズに行えるようにしています。		

項目番号		項目	自己評価 実践状況	外部評価	
自己	外部			実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
37	16	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	昼間・夜間想定し避難訓練を定期的に行い、配電盤や消火栓の位置、使用方法を確認、理解しておくようになっている。消防署の立ち合い、指導のもと、地域の方にも参加の声かけをしています。また、非常食や飲料水の期限、数量等をチェックし、災害に備えています。		
【IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援】					
38	17	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	研修で倫理やプライバシーの保護について学び、入浴やトイレ、排泄介助等において、利用者様の尊厳を守り、プライバシーを侵害しないよう声かけ、他に聞こえないようにする声の大きさ、扉を閉める、タオルをかけるなど配慮を心掛けています。		
39	—	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	どうしたいのか日頃から聞くことによって希望を言える場を多く作るようにしています。意思伝達の困難な利用者様には選択肢を上げ、出来るだけ自己決定して頂けるようにしています。		
40	—	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	今までの暮らしや体調、一人一人の状況を把握し、その人のペースにあった支援をしている。起床や就寝時間、散歩に行きたい、居室でゆっくり過ごしたいなど、その日その日に対応しています。		
41	—	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	入浴準備を一緒に行ない、洋服を選んで頂くようにしています。白髪染めやカットも本人・ご家族の希望にてしています。		
42	18	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	現在は外部注文しているが、業者を検討・見直しし、食事が一辺倒にならないようにしている。月一回のレクリエーションでは外食し、自分の食べたい物を注文、また、苑内でスタッフと一緒にたこ焼き作り、そうめん流しなど楽しまれている。		

項目番号		項目	自己評価	外部評価	
自己	外部		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	—	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	年齢や活動量、病歴を考慮し、個人的に嗜好品を取り入れ、高カロリージュースやゼリーを利用しながら、食事量・水分量・栄養バランスに気を付けている。一人一人の状態に合わせ、その都度、食事形態を考慮、なるべく自分で食べる事が出来るように食器も工夫しています。		
44	—	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後、歯磨きの声かけ・介助、一緒に行ない、うがい剤を使用して口腔内を清潔にしている。夜間は義歯預かり、ポリドント。また、週1回、歯科の訪問があり、口腔内チェックとお手入れ、職員はアドバイス、指導を頂きながら、状態の把握に努めています。		
45	19	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄チェック表にて排泄パターンを把握し、訴えない時はトイレの声かけをしています。トイレと訴えられない利用者様のトイレ合図を見逃さず、誘導するよう心掛けています。		
46	—	○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	苑内研修や外部研修にて学んでいます。毎日、バナナミルクを提供し、便秘傾向の利用者様は個人的に飲むヨーグルトを飲用、また、一日の水分摂取量を設定し、ラジオ体操で体を動かし、便秘予防に努めています。		
47	20	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった入浴の支援をしている	曜日、時間帯を入浴予定として決めているが、体調や利用者様の要望、その時々によって個々に対応している。入浴剤を使用して香りや色、触感を楽しまれ、湯温も好みに合わせている。		
48	—	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	起床・就寝時間は個々、その時々によって合わせて支援しています。午睡の時間を設け、また、いつでも横になって休める環境作りをしている。必要時はフロアにベッドを置いて休んで頂くこともある。		

項目番号		項目	自己評価 実践状況	外部評価	
自己	外部			実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	—	○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	お薬一覧表を作成し、服薬内容を確認出来るようにしています。お薬セット時のダブルチェック、内服時は声出し確認し、服薬介助、支援しています。お薬手帳や処方箋はいつでも参照できる場所にあり、薬の変更時は症状や副作用の確認を行い、申し送りノート等に記入し、情報共有しています。		
50	—	○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	洗濯干し、洗濯物たたみ、食後のお膳拭き、フロアの掃除等、出来ることを一緒にして頂いています。また、体を動かすことが好きな方には散歩や体操、居室内で好きな演歌を聴いたり、ハーモニカを吹いたり、一人一人の楽しみごとを大切にしています。嗜好品も希望ある時は各々に用意しています。		
51	21	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	現在はコロナ対策の為、難しい状況になっているが、その日その日で散歩やドライブなどの希望に沿っていた。月1回は外食も兼ね季節毎の外出支援をしている。また、「プラネタリウム」「美術館」に行きたいという個人的な希望も沿うことが出来た。地域の花火大会をご家族と楽しむ為、自宅に帰宅する支援もご家族と協力して行っている。		
52	—	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	金銭管理はご家族からお小遣いを預かっています。いくらかを所持されている利用者様もいらっしゃいます。希望時には一緒に買い物に出掛けていますが、支払いは職員に任せられています。		
53	—	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	携帯電話を所持され、自由に電話されている利用者様もいらっしゃいます。携帯電話が使える状態になっているか（充電等）注意している。また、希望があれば、電話をかけたり、手紙の返事を書く手伝いをしていく。現在はテレビ電話でお話出来る様に支援している。		
54	22	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	清潔、温度、湿度、明るさには特に気をつかい、加湿器、空気清浄機等を使用している。配席にも配慮し、季節に応じた壁画や花を飾り、季節感を感じ、居心地の良い空間作りに心掛けている。		

項目番号		項目	自己評価 実践状況	外部評価	
自己	外部			実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
55	—	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	個々の配席を配慮し、フロアのソファの配置も1人、2～3人で過ごせるようにしている。テレビも2か所あり、それぞれで見ることも出来る。状況に応じて時折、模様替えをしています。		
56	23	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	家具や寝具等、使い慣れた物をお持ち頂いています。ご主人のお位牌を置かれている方もいます。テレビや冷蔵庫の持ち込みも出来、ご家族の写真やメッセージカード、塗り絵の作品を掲示され、ゆっくりと過ごせる工夫をしています。		
57	—	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	廊下、居室入口に手すりを設置していません。フロアではテーブルの配置、必要に応じて居室にも手すりを設置し、居室内の移動が安全に出来るよう、家具の配置と合わせて行っています。ベッド柵にL字バーを使用して、ベッド移動が自立出来るようにしています。		

項目番号		項 目	取 り 組 み の 成 果			
自己	外部		(該当する箇所を○印で囲むこと)			
V サービスの成果に関する項目 (アウトカム項目)						
58	—	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：25, 26, 27)	○	①ほぼ全ての利用者の		
				②利用者の2/3くらいの		
				③利用者の1/3くらいの		
				④ほとんど掴んでいない		
59	—	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：20, 40)	○	①毎日ある		
				②数日に1回程度ある		
				③たまにある		
				④ほとんどない		
60	—	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：40)	○	①ほぼ全ての利用者が		
				②利用者の2/3くらいが		
				③利用者の1/3くらいが		
				④ほとんどいない		
61	—	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：38, 39)		①ほぼ全ての利用者が		
			○	②利用者の2/3くらいが		
				③利用者の1/3くらいが		
				④ほとんどいない		
62	—	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：51)	○	①ほぼ全ての利用者が		
				②利用者の2/3くらいが		
				③利用者の1/3くらいが		
				④ほとんどいない		
63	—	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：32, 33)	○	①ほぼ全ての利用者が		
				②利用者の2/3くらいが		
				③利用者の1/3くらいが		
				④ほとんどいない		
64	—	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：30)	○	①ほぼ全ての利用者が		
				②利用者の2/3くらいが		
				③利用者の1/3くらいが		
				④ほとんど掴んでいない		

項目番号		項 目	取 り 組 み の 成 果			
自己	外部		(該当する箇所を○印で囲むこと)			
V サービスの成果に関する項目 (アウトカム項目)						
65	—	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 21)	○	① ほぼ全ての家族と		
				② 家族の2/3くらいと		
				③ 家族の1/3くらいと		
				④ ほとんどできていない		
66	—	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：2, 22)		① ほぼ毎日のようにある		
				② 数日に1回程度ある		
			○	③ たまにある		
				④ ほとんどない		
67	—	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		① 大いに増えている		
			○	② 少しずつ増えている		
				③ あまり増えていない		
				④ 全くいない		
68	—	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	① ほぼ全ての職員が		
				② 職員の2/3くらいが		
				③ 職員の1/3くらいが		
				④ ほとんどいない		
69	—	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		① ほぼ全ての利用者が		
			○	② 利用者の2/3くらいが		
				③ 利用者の1/3くらいが		
				④ ほとんどいない		
70	—	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	① ほぼ全ての家族等が		
				② 家族等の2/3くらいが		
				③ 家族等の1/3くらいが		
				④ ほとんどいない		